

米山奨学生終了者 終了式・歓送会

米山奨学委員会 委員

田中 隆弥 (池田くれはRC)

日 時:2013年2月24日(日)

場 所:ハイアットリージェンシー大阪

参加者:高島凱夫G、近藤雅臣PG、若林紀男PG、磯田郁子地区研修委員、地区米山奨学委員会 田中真人委員長、西谷雅之副委員長、吉田悦治副委員長、福田治夫、河内幸枝、近藤菜穂子、島井宏子、古城紀雄、田中隆弥各委員、大学研究室指導教官、米山奨学生学友会、各クラブ会長・幹事、米山奨学委員長、カウンセラー 計83名

2013年2月24日(日)、ハイアットリージェンシー大阪にて、2012-2013年度『地区米山奨学委員会主催 米山奨学生終了者 終了式・歓送会』が開催されました。

第一部は、田中真人地区米山奨学委員長より「本日は終了式であるがこれからが本当のスタート。過去と他人は変えられないが未来と自分は変えられる。ひとつの出会いを大切に」との歓送の言葉で始まり、奨学生一人ひとりの名前が読み上げられた後、終了者を代表してユオン・バン・ビン君より「2年間、カウンセラーの橋高先生始め池田RCの皆様には大変お世話になりました。毎月出席した例会や様々な体験を通じてとても大きな財産を戴きました。これからもロータリーの奉仕の精神を忘れることなく社会に貢献し、日本とベトナムの架け橋として相互理解や友好を深める努力をしたいと思います」という素晴らしい挨拶がありました。それに対して高島Gは、まず指導教官、世話クラブ、カウンセラー、米山奨学生学友会に対し感謝の言葉を述べられ、さらに終了者全員に対し「日本で学んだことを胸に刻み、日本人が持っている他人を思いやる心を自国の人たちや友人に伝えてほしい。ロータリアンとの絆を大切にこれからも世話クラブやカウンセラーと連絡を取り続けてほしい」と、激励の言葉を戴き無事に終了式を閉会致しました。

第二部の懇親会では、近藤PGより終了者に対してご祝辞を戴いた後さらに「83歳になる私はこれからも太く長く華やかに生きてゆく。絶対に皆さんに負けるつもりは

ない。共に頑張りましょう!」と、ユーモア溢れる激励の言葉も戴きました。そして若林PGの「終了者それぞれが次のステージで大いに活躍して戴くことを祈念して」との乾杯のご発声後、和やかな雰囲気の中で、会食・懇親が進んでいきました。懇親会の途中で終了者の朱翔さん(吹田RC)、ペンピニット・サシウイモンさん(大阪梅田東RC)の挨拶では感極まるロータリアンがいたり、去る11月17日(土)に大阪科学技術センターで『第3回米山記念奨学生ふれあいスピーチコンテスト』が開催され、見事最優秀賞に輝いた張硯君(大阪大手前RC)のスピーチでは世話クラブとの深いふれあいの話が会場全体を感動の渦で包み込んだりしながら、最後に西谷地区米山奨学副委員長の「今あなたたちが受けた恩は私たちに返すのではなく、将来、あなたたちより若い世代に返してほしい。いつまでも何らかの形でロータリアンと関わってほしい」との挨拶をもって閉会となりました。

今年度、奨学生をお世話してくださいましたカウンセラーを始め、世話クラブの皆様のお陰で奨学生も無事に



巣立っていくことができました。心より深く感謝申し上げます。地区米山奨学委員会は、今後も奨学生を温かく見守ってゆきたいと思います。そして将来、巣立っていった奨学生たちが日本と世界を結ぶ平和の架け橋となってくれることを祈念し、ご報告とさせていただきます。

